

令和8年本宮市教育委員会2月臨時会会議録

1 日 時 令和8年2月3日(火) 午後1時30分～午後3時6分

2 場 所 本宮市中央公民館 1階 第2研修室

3 出席委員 教 育 長 大 内 順 一  
教育長職務代理人(1番) 谷 明 子  
委 員(2番) 渡 辺 俊 之  
委 員(3番) 古 宮 博 文  
委 員(4番) 遠 藤 傳 一 郎

4 出席職員 教育部長 川名 美和子  
参事兼教育総務課長 遠藤 智顕  
(書記)教育総務課総務係長 鈴木 和英

5 傍聴人 なし

6 案 件

協議第1号 令和7年度本宮市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について

7 審議経過

【午後1時30分開会】

◇教育長 それでは、教育委員の皆様、お集まりいただきましてありがとうございます。  
ただいまから教育委員会2月臨時会を開会いたします。

◇  
◎会議録署名委員の指名

◇教育長 会議録署名委員の指名を行います。今回は、1番委員、2番委員をお願いいたします。

◇  
◎協議第1号 令和7年度本宮市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について

◇教育長 それでは、協議第1号 令和7年度本宮市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について説明をお願いします。

総務課長。

◇参事兼教育総務課長 それでは、ご説明させていただきます。

今回、事前に教育委員会事務評価に関しての12事業に関する意見書について、各教育委員の皆様にご覧いただきまして、評価委員会の意見に対し、各教育委員の皆様からのご意見を提出いただいております。

本日は、お手元の皆様より本日いただきました意見内容により進めさせていただきたいと思いま

す。意見につきまして、1事業ごとに確認してまいりたいと考えております。いただいた意見につきましては、教育委員会の意見として報告書に掲載させていただきますが、重複や類似する内容については整理させていただき、後に清書をして皆様のお手元にお届けしたいと考えてございます。

それでは、まず1つ目の事業に入ります。

事務事業1番の篤志奨学資金給与基金事業でございます。

評価委員会では、方向性は改善改革しながら継続として整理されまして、意見といたしましては、奨学金を必要とする人数は調査に基づき、今後拡充が必要である。激励資金は、成果の見える化が必要で、進学したいという意思のある学生が諦めなくてよいように、激励資金の制度の充実と周知に力を入れ推進に努められたいという意見がございました。

これに関しまして、各教育委員さんの皆様より本日意見をいただいております。

まず1つ目、かいつまんで説明させていただきますが、谷委員からは、方法や選定の仕方について改善できる点があれば、考える必要があるのではないかと。激励金の成果の見える化は難しい。激励金支給の目的は海外体験を実現するために必要であると勘案している。方向性としては改善改革しながら継続ということがございました。

渡辺委員につきましては、本評価委員会のおりということで、追加として双子や重複する世帯への給与拡大というのがございました。

遠藤委員からは、基本は評価委員会のおりで、海外留学ばかりではなく、事業全体として成果の見える化が必要で、限られた予算の中でしっかりした検証、改善が求められている。

本日欠席の古宮委員の方は、物価高に伴い貸与額や支給額の見直しの是非の検討も今後必要であるとの内容で、改善改革しながら継続の方向性の意見として頂きました。

この事業の内容につきまして、補足などございましたらお願いしたいと思っております。

◇4番委員 評価委員さんからの意見で、海外激励金の成果の見える化については難しいと思っております。評価委員の方々の見える化が必要とは具体的にどんなことを言っているのかなと思われました。

もう一つは、奨学金は育成会の奨学金もありますが、そちらの奨学金では感想文を書かせるとか、定期的に報告をさせるとか、成果の見える化をしているのでしょうか。

◇教育長 総務課長。

◇参事兼教育総務課長 海外激励金の申請による、その後につきましては、帰国後に実績報告をいただいております。申請者が多くの国の学生と触れ、今後の日本のためになるような仕事に就きたいとか、そういった感想も含めた実績報告をいただいております。ただ、実績報告の内容は成果報告には掲載されておりません。実績報告は成果ではあると思っておりますが、成果の見える化ということで考えると、検討の余地はあると思っておりますが、事業の実績報告という形で報告をいただいている状況でございます。

◇1番委員 同じような内容ですが、評価委員さんの見える化とは、一体何を求めていらっしゃるのかなと思われました。ちょっと明確ではなかったもので、私も最後に書かせていただきました。

私としては、この成果と申しますか目的というのは、その方たちが成長とか経験ができるということかと思っております。だからチャンスを増やして差し上げられる。そこが私としては成果なのかなと思っております。私の中では制度を知って、利用してくださるということであれば、そこで成果と考えても良いのではないかと考えています。

なので、遠藤委員さんが申されるように、具体的な見える化が必要であるのか、この事業に関しての目的が何なのかというところが、皆さんそれぞれ考えが違ってくるのかなと感じました。

以上です。

◇**参事兼教育総務課長** 評価委員さんのご意見の見える化の考え方ですが、短期ではありますが、留学して何を本人が見てきたのかとか、海外短期であっても留学して、その後どうだったのかということも含めて、見える化が必要なのかという話であったとは記憶してございます。

現役学生が海外留学をして、将来については、これからの話でありますので、成果の見える化は現段階では厳しいと置いていたところでございます。

◇**教育部長** 海外留学ですが、激励資金ということで、1回行って20万円ほどの支援をさせていただいておりますが、ご利用されている方は短期の語学留学等で留学されている方が多いと思います。1年間の長期の留学などには、まだ市として支援した状況にはないところですが、短期の方については、目的意識を持って留学されているので、成果があるとは思いますが、具体的な成果があったというのを見る化というのは、なかなか難しいところではあると思います。その後の進路に何かしらの影響があると思いますが、それを数字にして表していくというのは、なかなか難しいと思います。

◇**4番委員** 見える化と言えるかどうか分かりませんが、例えば海外研修に行った帰りの機内で感想文を書いていただくイメージがあります。そして、フィードバックしたりできるかと思えます。

あとは、半年後とか1年後とかにもう一回感想文を求める。その後1年間でどのように活かされたかとか。そういうフィードバックできるような感想については頂いてないですね。

◇**教育部長** 実績報告という形で、留学中での体験の感想などを頂いたりしております。

◇**4番委員** 報告書は、それはそれで良いとは思いますが、ただ、1年後に何らかの形で成果に活かされた内容があったら報告してくださいとか、もうワンセットやっても良いのかななんて思いました。見える化という伝え方が正しいか分かりませんが、激励資金を交付するのだから、1年後にもう一回感想文等を書いて頂いて、体験がどう活かされたかなど報告を求めても良いのかなと感じがします。見える化が必要であると言っているのも、そういうことがあってもいいのかなと思ひまして、このように書かせてもらいました。

あと、海外留学ばかりではなく、一般の奨学金ですが、給付して終わりなのか、定期的に報告を求めているのか、そういう形で見える化をしていったほうが良いのかな。税金での限られた予算で支給しているので、あまり縛ってはいけないとは思いますが、でもフィードバックが必要なのかな。ただ、本宮市が厳しいなんて言われては困りますね。

◇**教育長** この見える化というのは、結果的に公表していくということなのでしょうか。

◇**1番委員** そのところがよく分かりませんね。

◇**教育長** プライバシーの問題などがあると思います。見える化は私も気になっていたのですが、どこまでといいますか、どのようなイメージで評価委員の方々がおっしゃっているのか。

公表するとなってしまうと、またちょっと別の意味が出てくると思います。お名前を出して、具体的な体験や活動などの内容について、例えば1枚であっても公にすると申しますか、そのような結果を求めていくのか。利用する側も公表までされるとなってくると、なかなか利用しづらくなると思います。それは難しいと思います。一般的な話で出すのであれば、また別ですが。

◇**1番委員** ただやっぱり給付型ですと、いろんな制限がある条件で利用を頂くわけですから、名前を全然出さないのもどうなのかなとは思いますが。あと貸与型は返済の義務もあるわけですし、ですから、そこまでする必要はあるのかと思ひます。私が最後に書いたのは、結果報告が目的ではないと思ひます。将来的に、大きい意味では、留学した成果がでることが目的ですが、成果を見せて

くださいという制度ではないと認識しております。そういうことを求める方もいらっしゃるかと思  
います。税金を使いますし。それはある意味で当然なのかもしれません。

◇4番委員 先ほど教育部長がおっしゃられた結果報告ですが、公表する方法ですが、感想文等を各  
小中学校の掲示板に貼ってもらうなど、それくらいは良いのではないかと思います。

海外へ行って体験した内容を見て、聞いていただくことで、子供たちに意欲をつけていただく。  
だから、体験報告の掲示などを義務づけてもいいのかなと思います。そして、どんどん発信してい  
く。小中学生にもこういう機会もあると、定期的に発信しても良いのではないかと思います。

◇教育長 公表の仕方ですが、きちんと公開のラインを決めていく。色々なところに発信していくの  
はとても良いことだと思いますし、私も去年か今年の留学激励金を利用された方の報告書を拝見さ  
せていただき、写真が沢山貼ってありまして、海外の様子なども分かるように工夫された部分を拝  
見しましたので、それらを見るとすごく向こうでの生活がよく分かりました。ただ、公表するか  
しないかの判断は難しいところだと思いますが、例えば本人の了解を得てからなどの検討の必要があ  
ります。

ただ、見える化という言葉自体が難しいのですが、公表はしてもいいのかな。公表というのは、  
今言ったような、例えば、A君が海外留学に行ってきた感想とかが役に立ったとかということ、  
便りとか、中学校生徒へ配布とか、色々できるのかなとは思いますが。

◇4番委員 そういうところから、検証を行って改善・改革につながっていくと思いますが、教育委  
員の意見として、どういう形でまとめていくかですかね。

◇教育長 課長。

◇参事兼教育総務課長 委員さんは、激励金の成果の見える化の話は、一応難しいと思うという話と、  
必要であるという意見いただいております。ここでは必要であるという意見に統一させて頂いて宜  
しいでしょうか。

◇1番委員 海外留学激励金だけではなく、篤志奨学金に関してでも同様ですよ。給付型ではなく  
て貸与型は別の話ですよ。結果報告は激励金の話ですよ。

◇4番委員 私が言ったのは一般的なことです。市の補助金などを我々も頂く機会もあります。そこ  
で金額の見直しなどの意見として申し上げているものです。

◇参事兼教育総務課長 本日、確認した内容を追加させていただきまして、報告書に掲載させていた  
だきたいと思います。方向性については、改善しながら継続という教育委員からの意見として整理  
させていただきます。教育長から何かございますか。

◇教育長 いえ、大丈夫です。

◇参事兼教育総務課長 では、次に進めさせていただきます。

次の事業につきましては、2つ目は保育所事業になります。評価委員会の意見等につきましては  
拡充する方向性で、子育ての施策の大切な部分を担うところですので、待機児童ゼロへ向けて計  
画的に進め、皆が利用できるよう予算と人員の確保に努められたいという意見でありました。

この内容につきまして、谷委員からは、評価書のとおりということですが、夜間保育も見  
直すべきではないかとの意見がございます。渡辺委員につきましては、評価委員会のとおりで、成  
果として確保に向け働きやすい環境の整備を進める。遠藤委員については、評価委員会の評価の  
とおりということでした。古宮委員についても評価委員のとおりということ、方向性につ  
いては皆さん拡充の方向性で一致しております。

事業の内容につきまして、補足等あればお願いしたいと思っております。

◇1番委員 書かせていただきましたが、現状からは無理な話かもしれません。市内には24時間稼働している企業が多い気がします。アルスさんやコンビニのお弁当の工場とか、あぁいった工場などは24時間営業でやってらっしゃるし、うちの病院とか介護施設関係も24時間やっています。そういうことを考えると、労働人口を増やしたいという意図は、どの市町村にもあると思いますが、では、どの層の人口を増やしたいかといったら、働ける世代の人口を増やしたい目標がおりかと思えます。

市長さんが言うておりましたが、イギリス、ロンドンに行かれたときでしたか、たとえ、1人だとしても他市町村でやっていないことをやっていきたいお話があったかと思えます。それと同じで、夜間保育は、公でどこも始めていない分野なのかなと思えます。

◇教育部長 郡山市で始まりました。

◇1番委員 市立ではないのですか。

◇教育部長 民間の保育所ですね。

◇1番委員 民間ですよ。ですから、本宮市では民間の保育所というのは少ないです。であれば、アドバンテージにはなるのかなと思えて、書かせていただきました。今すぐでなくても将来的に考えてはどうでしょうか。ほかの市町村と並んで始めるのではなく、本宮市が先に導入することで良い影響が出てくるのではないかと思えて書かせていただきました。

◇教育部長 今、現状としては、保育所が19時までやっているところはありますが、夜の19時まで働ける方がいなくて、その対応にも問題がございます。

◇1番委員 ですから、難しいことは分かりますが、考え始めなきゃ何事も始まらないと思えます。将来的に、必要になってくる分野ではないかと思えます。考えの一つに入れていただいて、将来的に検討が必要なのではないかと思えて書かせていただきました。

◇参事兼教育総務課長 ほかに意見等ないようであれば、この事業につきましては、いただいた内容を整理しまして、報告書に掲載させていただきます。方向性についても拡充ということで、報告書に掲載させていただきます。では、次の事業に移ります。

次は、学力向上対策事業でございます。評価委員会の意見では、方向性は改善改革しながら継続ということで、チャレンジ学習への取組については学校差があるので、検定のやり方について検討する事が必要と。また、学力向上対策として、なぜ効果が上がらないかを検証する必要がある。各学校において検定に取り組む環境づくりも大切であり、支援の工夫も必要と思われるという意見がございました。

これを受けまして、教育委員の皆様からのご意見ですが、谷委員からは、各小中学校で意欲が高まる工夫を日常と絡めてお願いしたいということや、家庭や地域にも努力を促したいという意見がございました。渡辺委員からは、基本、評価委員会のおりということ、追加で学力向上を生徒さん達にも考えさせてはどうか。生徒会にも学力向上委員会を設置してはどうかという意見がございました。遠藤委員からは、基本は評価委員会の評価のおりということ、追加として受検について学生のモチベーションの向上を図ることが大切である。チャレンジ学習の意味を前進させるためにも、伸びしろのある学生への意欲づけ、周囲全体を牽引させるためにも、1人当たりの補助回数を増すなど拡充してはどうかという意見がございました。古宮委員からは、評価委員のおりという内容でございました。

方向性につきましては、改善改革と拡充の二通りの意見に分かれたところでございます。

事業の内容について補足があればお願いします。また、方向性の分かれているところでは、複数

の意見があったとして、併記する方向で進めてよろしいかもお諮りいたします。よろしくお願いいたします。

◇教育長 どうぞ。

◇1番委員 すいません、私ばかり発言して申し訳ないところですが、チャレンジ学習、学力向上対策事業ですが、学力とは何かと考えますと、遠藤委員さんもおっしゃるように、学ぼうとする意欲とかモチベーションの向上などが中心ではないのでしょうか。だから、現実的にチャレンジ学習への取り組みを行ったから、国の学力検査とか県の学力検査で点数が何点上がるという成果など、そこは連動させて評価するのは難しいと思います。

方法として、遠藤委員さんがおっしゃるように意欲が増えるような制度を創設したらどうかというお話は納得しますし、事業として学力と書いてありますから、学力という点数が目的みたいに行きがちですが、学力とは何かと、数字ではないのではないかと疑問がありました。あと、よく教育長さんがおっしゃるように、学校内で全てを対応していることが問題点としてあるのであれば、学校だけで抱えるのではなく、主権の在り方とかは、もっとPTAとかコミュニティづくりの役員の方たちとも相談して、何かもっといい方法を考えても良いかと思います。だから場所は学校を使っても、学校の先生が出てこなくてもやれる方法とか、何か違う方法を考えた方が良いのではないかと、改善改革と書かせていただきました。以上です。

◇4番委員 私の言いたいことは、学力向上対策は喫緊の課題だということです。今回も1月頃の広報紙で市長が何回も言っておりますが、最後にも、本市の学力向上対策は喫緊の課題と繰り返していますね。教育長と大事なところを会談されたわけですが。

だから、何かしなくちゃいけないですよ。考えられるあらゆる施策を起こしていかなければならないって、考えられることだったら何があるのでしょうか。チャレンジ学習をやっていけないというのであれば何があるのですかと。そういうことを言いたかったのですが。だからチャレンジ学習というのは、私は伸びしろのある子に牽引役をしてもらいたい。

何でもそうだよ、合唱だって、みんな上手な人に合わせようとする。子供たちの心理と申しますか、向上心を刺激して、そして全体的に盛り上げていく。この間、民報新聞にも掲載されていましたが、郡山のザベリオが英検の何級、小学生で準2級取ったとか広報して、私立だからそういったことが宣伝になるわけですし、中学生になったらザベリオに行きたい子が随分多くなってきております。

市内の小学生から、中学校はザベリオに行きたい、小学校ザベリオへ行きたい、みんな頭いい人たち、そういう人たちが集まっている。そういう話になるわけですよ、子供の間でもね、みんな行きたい。

本宮市立の中学校、小学校でもそういった牽引役になる子供を育てて、みんなで盛り上げるような雰囲気をつくれないうか、私の考えですよ。反対の意見があっても構わないです。

だから、学力向上のため、生徒を育てていくためには、学校の手段の部分だと思います。生徒にやるように仕向けて、受けさせて、そして伸ばしてやるというようなことを学校でやらなくても、挑戦する子供には奨励金の対象とすればどうだろうかなどを書かせていただきました。先生方に負担がかかるのであれば、学校で行わなくても生徒さんには、助成金を出す形であればということで書きました。

◇教育部長 チャレンジ学習については、この間もお話しさせていただきましたが、谷委員さんがおっしゃるように点数だけではないのではないかとお話があったところですが、十何年続けてきた中

で、意欲を測るのはなかなか難しいと思いますが、結果と申しますか、何かで測るといって数字で見ると見えないところで、指標の一つとして見させていただきましたが、十数年もやっている間にその効果が上がっているところが見えなかったのも、ちょっと立ち止まるべきかとも考え、では、どのようにやっていくべきなのか、それとも違う方向に展開していくべきなのかとか考えているところです。

◇1番委員 遠藤委員さんのご意見には全面的に賛成です。おっしゃるとおりだと思います。今は3つありますよね。漢検とか。

◇教育部長 それと、数検、英検ですね。

◇1番委員 だけど、教育長さんが前におっしゃったように、例えば中学生は英検に絞るとか。何か間口が広過ぎなところもあるかもしれないし。ただ、市で費用を出していただきますので、経済的な面から受検しようと思えるご家庭の中にはあるのかなと考えますと、私はやはり補助はあっても良いのかなと思います。

ただ、学校によって差があるのは、先生たちの意識が同じではないため、すごく盛り上がる学校もあれば、面倒くさいと考える学校もあるのかもしれませんが。何のために補助を行っているのか、目的を明確にして先生方にも協力していただけるような制度に変えていくために、改善改革しながらの継続と書かせていただきました。

◇教育部長 遠藤委員さんや谷委員さんがおっしゃるように、学力向上対策は、もうずっと喫緊の課題と言っているままで、なかなか成果が出てこないところです。

◇2番委員 ずっと頭打ちのような感じがしております。補助金を出しても受ける人が増えていかない、なおかつ実績も上がらない。評価委員会からのご意見はそのとおりだと思いますので、評価のとおりにしましたが、そのほか根本的に生徒の意識を変えていかないと駄目なのではないかと思ひ、書かせていただきました。

例えば自学とは、自分で当然やらなくてはならないものですが、その意識が低いと自学はやりませんし、当然チャレンジ学習も受けようという気になりません。何で勉強しなくてはいけないのか、成績を上げなくてはいけないのかということも、もう一回子供たちにも考えさせたほうが良いと思ひ書かせて頂いたのですが、学力向上委員会は先生方にはありますが、子供たちで学力向上のために必要なことを考え、子ども達から分からないところや難しいところが原因であれば、教えてあげるようにするとか、そういう心がけをちょっと変えるだけでも成績が上がっていくのではないかと思います。

うちの娘は数学が弱いので、友達に聞いて分かったと言って喜んでいましたが、そういう日々の、授業だけではなく、子供たちのつながりの中での学び合いがされているかとは思ひますが、もう少しだけ子供たちにも考えてもらうようにしたら、成績が上がるのではないかと思いますし、もう一度考える機会をつくってもいいのかなと思います。こういう学力向上委員会設置と書かせていただきましたが、チャレンジ学習とは内容が違うかもしれません。

◇教育長 今のお話すごく大切だと思います。今、大人がどうこうではなく、学ぶ主体は子供ですから、子供の意識を変えていくとことは大切だと思います。今回、安積中に4名の中から3名が合格されました。その中の1人、和田のお子さんですが、校長先生と話す機会がありまして、お話しをお聞きしますと、その子が安積中に行きたい思いが強くあって、夏休み前から親に頼んで塾に行くなどしていたそうです。親が行かせようと思って、努力されたのかなと思つたら、本人の強い意志によるものでした。

1月10日土曜日が受験日でしたが、学校が8日に始まり、8日、9日はその子は休んだそうです。学校を休んで10日の受験に向けて体調を調べ勉強したそうです。そのぐらいの意識を高く持っていたのです。親も一生懸命に子供の思いをかなえたいと応援したとの話も聞きました。校長も言うておりましたが、学校関係なく本人の意識だったという言い方をしておられました。学校も色々何かはしたと思いますが。

今の渡辺委員の話はそのとおりだと思います。子供がどこまでそういう意識を持てるかという。以前も話しましたが、チャレンジについては、なぜ学校でやっているのかなと思いました。学校だけでしか、やってはいけないと私は思っていないです。それは手段なので、方法ですから、やり方を別にすれば良いことなので、学校から切り離すことは、難しいことではないと思いました。

あと、もう1点気になるのは、やはり学力が下がっております。ずっと10年間ぐらい。学力を捉えたら確かに点数では表せない部分がたくさんあるのは当然ですが、されど、やはりデータに基づかなくてはいけないのかなと。何となく良さげだからやっているというのはどうかと思います。そこに厳しさを求めたらいいのかなと考えました。

この点については、市長とお話をさせていただきましたが、言ってしましますが、私は廃止しても良いかなと市長に話をしました。当然ながら返ってきたのは、やめるのでしたら別の学力向上の策を新たに示す必要があるのではないかとご指摘を受けました。そのとき、私は答えませんでした。また別の機会に時間をとっていただくようにいたしました。

すみませんが、学校に長くいた人間なのでこういう言い方になってしまいますが、学力は学校だと思います。学校のだと思います。小学校、中学校それぞれに訪問させていただき、学力は何なのかといたら、授業だと思っています。一昨年からずっと申し上げておりますが、授業を良くしていくことで、意欲はいくらでも生まれると思います。それから、生徒が求めている学力に対応した授業をやらなければいけないと思いますが、それが本宮市の場合は、まだまだできていない。ですから、改善の余地はまだたくさんある。それを改善していくことによって、間違いなく学力向上につながっていくと私は思っています。

だったら、学校からやらなければいけないのではなく、やらなくてもいいことはできるだけ整理しまして、先生方の働き方改革の目的は、生徒と向き合う時間の確保と授業改善です。授業を改善するための時間を確保することが働き方改革の目的なので、やらなくていいものは省いていって、学力向上に向けた教材研究や授業の質を良くするための研究を行っていただく時間を作っていただきたいと思いました。その辺も市長に話をしたことはありました。

改善改革しながら継続とは、皆さん方と私の理由が違ってしまっているのは良いのですが、私がそういう考えでいるのは確かです。どちらにしろ、一旦、立ち止まる必要があるのかなという考えはあります。一旦立ち止まって、よりよい在り方ですね、これをチャレンジ学習も含めて新たな形に変えていくことはいいと思いますが、今のやり方を継続していくことであったり、改善して、学校以外のところでやっていくという形や、PTAや地域にお願いする形にしても、再来年から実施できるのかなと、考えもしたりしたので、一旦、休みを置いてからということが一つです。

それからもう一つは、英検だけという考えもありました。英検だけ残し、3級以上でないとは補助しません。そして、2回までのチャンスを与えましょうという考え方も当初はありました。ただ、これは英語教育のためとは言いながらも、それだけやってもあまり効果がないと思います。受ける子はほとんどいないだろうということ。であれば、ALTを中学校に常勤させるようにし、英検で高みを目指す一つのセットとして考えれば、効果があるかと考えました。それに英語構文もあるの

で、この3つで英語の教育をやっていくことも考えましたが、なかなかALTについては難しいところもあるとのことなので、今のところは現状維持になりそうです。

市長に言われたのは、英検をやって学力が上がるのかと言われてしまいました。確かに英検やって学力上がるということは、あまりないのかと思いました。英語教育を本宮市の特色としてやっていきたいという思いで提案はいたしました、難しいのかなと思っております。

皆さんがおっしゃることもよく分かるので。すいません、私の考えであります。

◇4番委員 安積中学校に3人も行けたのですか。

◇教育長 はい。

◇4番委員 4人中3人。和田小学校からですか。

◇教育長 その中に和田小の子がいます。

◇4番委員 先ほどの校長の話の件ですね。

◇教育長 今の話は、和田の話です。和田小学校長の話。合格の後にちょっと会う機会がありまして、そのときに今のお話しをお聞きしました。今年はあと本小とまゆみ小に1人ずつ合格者が出ました。

◇4番委員 すばらしいですね。やっぱり本人の意欲というか、塾に行ったりしていたのでしょうかね。

◇教育長 私はどちらかという親が行かせたいと思っていたのではないかと。親の働きかけで、その子が行ったのではないかと考えていました。

◇4番委員 教育長のお話分かりました。すいませんでした。私の考えは、ここに書いたとおり、事業評価した方々もなぜ上がらないのか検証する必要があると。それは課題提起だけで、具体的に何をやったらいいとは書いてありません。だから、私は具体的にモチベーションの向上を図るために、報奨制度や市の広報紙に掲載するとか、具体的な内容で子供たちのモチベーションを上げたらいい。そうすることで意欲を高めていく。

だから、成果としては上がらないとおっしゃられるが、成績が上がらないのは、こういったことをやってきていないから上がらないと思っております。具体的にこうしたら変化があつて、一生懸命勉強して、合格した子供はすばらしいなとなるのではないのですか。それを牽引役にしてはどうでしょうか。ですから、もっと逆に拡充したら良いのではないかというのが私の考えです。

私はこういったことを逆に拡大していく。2,000万円の予算を1,000万円しか使っていない。だから、本当は2,000万円を丸々使えるわけだから、拡大して何かできないか、私が言いたいことです。

あともう一つは、教育長がおっしゃるように、授業が大事、先生が大事ですと、私は残念ながら、学校を訪問していると、先生方の力量、残念ながらはっきり言って非常に低い、だから、郡山市の校長先生のお話や、本宮二中とか一中の先生方や、私の友達などにお話を聞きますと、郡山市の先生方のレベルが高いかもしれません。二本松市も含めて安達地方全体が郡山市とよく比較されますが、郡山市はレベルが高いと思います。

校長が来て教室に何度も案内していただきました。良い先生を見てください。良い先生を呼んでくれば、先生方も意欲が出てくるかと思えます。でも今の先生方だけで授業を改善しようと一生懸命頑張っても、はっきり言って申し訳ありませんが、先生方の力量など右肩上がりになるかもしれないけども、時間がかかるのではないかと思います。

喫緊の課題ですから、早急に課題に対する対策が必要です。私は拡充と申し上げておりますが、現状維持ではなく拡充。そしてもっと尻をたたくぐらい。そして本人も意欲が湧いてくる。そうい

う子供が出てくれば良いと思います。だから私もびっくりしましたが、五百川小学校から中学校はサベリオに行きたいと、高校も決まったそうですよ。そういう子供さんが五百川小学校にいました。

だから、もちろん本宮からもたくさん行っているわけですが、五百川でさえ、そういうことが起こるわけですから、ましてや和田小にそういった子供がいたことは、子供を発掘といいますか、そういうこともやっていけば、全体的に成績も上がってくるのではないのでしょうか。先生方に頼るのではなくて、子供に頼る。

◇**教育長** 私も学力は学校に任せてくださいぐらいの、学校に自信を持ってそのぐらいは言っていただけのような学校にしていかななくてはいけないと思っております。あと、遠藤委員がおっしゃったように、これはここだけの話ですが、教員の質について確かにご指摘のとおりだと思います。

今、私が一生懸命取り組んでいるのは、市の学校の先生を内側から何とかしようとしております。ただ、それも限界を感じているところもあるので、おっしゃるとおり、良い先生に来ていただくことを頑張ります。今、1人、2人ですが郡山市から何とかかなりそうな話にもなっておりますので、外側から入れ替えるといいますか、今までやってきた2年間の内側から変えることをやりつつ、要望でしていくことが一つと、あとはトップの考え方です。というのは校長ですね。校長の意識で、学校が大きく変わっていくことは、当然と言えば当然ですが。学校が変わってきたのは良いか悪いかは別としても、市内の10校の中でも学力向上に一生懸命取り組んで、成果を上げてきている学校が出てきています。

例えば本宮一中でしたり、あと岩根小ですね。岩根はパイロット校に指定していることもあり、大きく変わってきているのは間違いありません。そこに集中すると申しますか、全力を挙げてやれないかなど。これだけ学校で学べる環境を調べたから、あとは学校さんで頑張るだけですよと言うくらいにしたいと思っております。チャレンジはもう外しますと。学校から切り離します。実は校長との面談を1人ずつ行いましたが、チャレンジの話が出ました。最初は私に気を使って、校長もチャレンジを一生懸命やっておりますと言っていたのですが、実はチャレンジは学校から切り離そうと思っていると言った途端に、その校長先生が実は良かったと言ったのです。

だから、やはり重荷になっていたと思いますし、私も先生方から絶対不満は出ているだろうと思っております。校長も市ですすめていたため、罪悪感からの発言だったと思います。

◇**1番委員** だから、別に学校でやる必要はないわけですから、チャレンジ学習自体は継続でよかった、英語検定は、大学入学の時とか何級持っていればメリットが多分ありますよね。だから、安積中学があるから入ろうと思ひ、その子はそれだけ頑張ったわけですが、目標が目の前にあるから。だから、英検とか漢検とか数検にしても、英検の何級を持っていれば大学に行くときに、このぐらい良いメリットがある情報とか、そういうのを出していくことで、意欲がわくのではないかと思います。漠然と英検を受けませんかと言われても、英検受けてどうなるのか、そんな好きではないかもしれません。でも、将来を見据えて、具体的な効果があるということを知れば、そこで頑張れるご家庭もあるのではないのでしょうか。さっきおっしゃったようにザベリオ中学校、じゃ受験してみようかと思うように、目の前に何かがあれば、そこに向かっていくご家庭というのも現れてくると思います。

ただ、学力に関しては、学力は点数ではない言い方をしましたが、それは保護者の中で言う考えであって、学校の先生自身は、シビアに感じてほしいと思います。学校の先生も学校側としては、学力といったらもう点数、そこは本当にお仕事ですから、しっかり考えてほしい。

ただ、私たち一般の市民とか保護者にとっては、多分学力というのはそこだけではなくて、学び

やすい環境とか、そちらのほうがもっと重要であると思います。だから不登校が少ないですねという話をしましたが、もっとアピールしてもいい点なのではないでしょうか。本宮市の利点として、私個人としては感じています。

◇4番委員 今、教育長がやめると言ったら、先生方はみんな、してやったりみたいに考えますかね。

◇教育長 その校長だけかもしれないですけどね。

◇4番委員 前にも鼓笛をやめたい話が出て、我々が続行しますと言って覆させたことがありました。

◇1番委員 結局、その委員会が立ち上がって、そこで流利的にやめたい先生も多かったのを、やめる方向になったのを、私はやるべきだと申し上げました。地域の人に子供たちの姿を見せられる唯一の場なのに、どうしてやめるのですかと強く言ったので、流れが変わり、会議が終わった後にある先生が私のところにいらして、他の先生方はやめたい意見が多くて、あの中で私言えませんでしたとおっしゃっていました。その先生は続けてほしいと思っているとのことでした。やはり、先生方のご苦勞も分かりますし、ほかの先生方がやめてほしいという中で、同じ教師仲間として自分だけはやっぱり続けてほしいと言えなかったという話でした。

◇4番委員 いろいろ働き方改革ではないですが、切り捨てなくてはならない事はあると思います。そのうちスキー教室がなくなるのではないかと心配しております。子供はスキー教室を楽しみにしております。先生方の負担は大きいかもしれません。ですが、ああいう経験をさせるというのも大事だと聞いております。予算要望のたびにスキー教室を入れておりますが、他の市町村では、スキー教室はやっていないですよ。

◇教育長 やっていません。

◇4番委員 二本松市はやっているかもしれません。だけど、子供たちに色々な経験をさせてあげる、ポジティブに何でもやらせてあげるということは、大きく成長してから良い思い出になるし、良い体験ですよ。だから、チャレンジ学習も合格したときの喜びが違いますよね。我々の時代はそろばんでしたが、何級を合格できたと喜んだ記憶があります。そういう達成感を味わわせるということも大事であると思います。

色々な考えがありますが、先生方が大変だということであれば、希望者だけでも受験でき、補助金を差し上げるような制度は残しておきたい感じがします。そしてもっと拡充して、希望者には補助金をもっと差し上げるなどの内容で、あらゆる施策の中の一つに加えていただけたら良いと思います。

◇2番委員 私は教育長のおっしゃるとおりに、一回ちょっとやめてみて、それで成果が上がらないので、やり方を変えて進んでみるのも手かなと思います。それでまた駄目でしたら元に戻すとか。色々な道はあると思いますので、もし教育長の肝いりということであれば、そういうことをやっても良いのではないかと、教育長の考えで進めてはいかがでしょうか。

◇1番委員 教育委員会はあるけれど、やっぱり最終的にご決断をいただくのは、教育長と事務局のあたり、市役所の中での話でしょうから、そこは決断をいただきたいです。ただ意見としては沢山ありますので、言わせていただきますが。

◇教育長 それがないといけないと思います。

◇1番委員 当然、私たちでは最終判断は出来ません。

◇教育長 色々、ご意見を言っていた上で判断はさせていただきたいと思います。

◇2番委員 それでいいと思います。教育長の強い意思と言葉でやって頂いて良いと思います。

◇**教育長** ですが、働き方改革の名の下に鼓笛や、スキー教室などをなくしていこうというのは、私は間違っていると思っております。教育的な効果が明らかであれば、続けるべきですし、それが教員の仕事ですし、責任ですね。谷さんがおっしゃったように、私も教員は点数にこだわる必要はあると思っております。

◇**1番委員** はい、そう思います。

◇**教育長** しかし、今の教員って意外とこだわってないです。ああ、このぐらいなのかなと感じる方もいて、こんなに数値が下がっているのに何もやらないのか。というのはすごく感じております。もう一度そこに厳しさを求めたい、本当に質を変えていくというところを今以上にしっかりとやっています。かなり質は上がってきていると私は思っています。

昨日は、まゆみ小学校に行ってきました。その前の週は白岩小学校に行ってきましたが、2つの学校とも4月に比べればかなり変わってきています。なので、期待をしているところではありますが、ただ一方では全く変わっていない先生もいます。やはりその意識が足りない。

一番、変わったなと思うのは、子供たちが楽しそうに授業を受けていました。それはなぜかというと、先生も楽しそうにやっています、授業にタブレットを使いながら、色々やりながら。4月と変わったところですが、4月は先生が一方的にしゃべって、子供は下を向いているような授業でしたが、昨日行ったまゆみ小学校、特に低学年の子は本当に生き生きとしておりました。変わってきていると思いました。

白岩小も、実はそのような感じの授業でした。教育委員さんと9月に訪問しまして、あのときは変わってきています。なので、市で示している方向性というのは決して間違っていないと思えます。ただ、それが結果として学力向上にポンとは出にくいのは確かですが、子供の学びたいという意識が出てきているところが良いなと思っております。それは結局、自分の力をもっと高めたい、では、どういう場で学ばばいいのか。それがザベリオであったりとか安積中であったりしていると思っております。できれば、このチャレンジは一旦休止させていただいて、渡辺委員がおっしゃったように、一回検証させていただいて予算を活かしたやり方を1年間かけて、皆さんと検討したいと思っております。

◇**4番委員** 学力向上対策事業として、2,000万円ほどの予算があるかと思いますが、2,000万円を使えるような代替策ですね。

◇**教育部長** この事業だけではないです。

◇**教育長** チャレンジだけではなくて、ほかの事業で先生をお呼びしたり、いろんなことに予算は対策としてございますので。

◇**4番委員** 本宮市の公教育というか、私立じゃない、公共のレベルを上げないとみんな逃げちゃいます。ザベリオだ、東京だ。本宮市内の生徒さんも東京の私立学校に行くわけですよ。そういう公教育のレベルを上げられないかと思えます。片方では不登校対策や支援員対策などに追われて、全体的に盛り上がらないじゃないですか。だから、全体的に盛り上がるようなことを考えなくてはならないと思えます。

◇**教育長** 学校は質で言うと、本宮市はそんな悪くはないと思えます。学力という部分で申しますと、授業の質で少し問題がございしますが、不登校が少ないというのは、子供が学びたいという思いがあって学校に戻ろうという気持ちが強い、そういう学校にして頂いているという思いはあります。それが不登校の少なさにつながっていると思えます。

ただ、学校の校風は学力というか、勉強が分かるという、できるようになるというところは、こ

これは昔から言われていることなので、大切にしっかり取り組んでいきたいと思っております。

◇2番委員 今、先生をお呼びするお話しですが、夢先生ってありますよね。何かの予算要望のときも書かせていただいたのですが、スポーツ選手に来ていただいて、話を聞くというのが一つありますが、例え、埋蔵レアアースのニュースですが、地下6,000mから泥を引き揚げて、これから日本の資源として、中国に頼らず、ずっと使っていけるような、すごい技術を日本でも持っている話を聞きますと、本当に私たちもうれしいと思いますし、子供たちもすごく興味があるのではないかと思います。そういう最先端技術と申しますか。

お金をかけて、日本の最先端で働いている人のことを講演していただくとか、スポーツの良い部分は、それはそれで良いのですが、違う産業の最先端の方々と交渉して頂いて、子供たちが憧れるような分野の方を本宮市にお呼びして、子供たちを活性化させるようなものにお金を使ってほしいと思います。

◇教育長 各学校に割当てがあって、すぐにおいでいただけるような形になっておりますか。

◇教育部長 子供向けには特にはなくて、夢先生に関しては、サッカー協会に全てお願いをして、サッカー協会を選んだ講師と申しますか、アスリートからお話をさせて頂いている状況です。そちらの委託をやめて、それぞれで、色々な先生をお呼びするやり方もできなくないとは思いますが、ただ、先生を探して交渉して来て頂くことは、なかなか難しいところでは、あるかもしれません。

◇1番委員 今は、どなたが来ていただけるか、ぎりぎりまで決まらなかったりしますから。

◇教育部長 アスリートはそうですね。今やっている夢先生はサッカー協会で責任を持って、先生を選んで派遣して下さるので、お願いしておけば大丈夫ではありますが、それは頼まないで、自分たちで手配をしていくことは、なかなか難しいと思います。希望した人がうまく見つければもちろん良いと思いますし。

◇1番委員 ただ、いろんな負担は増えると思います。

◇教育部長 あと金額的にどのぐらいなのか、ちょっと調べてみてなかったもので、分かりませんが。例えば、地域の会社さんなどがありますよね。トヨタさんですとか色々な会社がありますが、そういうところから学校に来て頂いて、講演や授業をやっていただく機会を頂けることもあるみたいです。活用している学校もございます。

◇1番委員 あとは地域出身のアニメーションの押山さんとか、世界で活躍している方がいらっしゃいます。あるいは県内でも、福島県出身でも身近な方で活躍されている方にいらしていただければ、モチベーションが上がるような気がいたします。

◇教育長 自分も頑張って同じように先輩につづきたい。そういう思いになります。まゆみ小が今キャリア教育に力を入れておまして、一回、講師を呼んで子供たちへの出前授業のようなことをやっているというのは聞いております。五百川小でもやっておりましたが、まゆみ小ではその辺を取り入れてますね。

◇教育部長 あとは学校で持っている自由選択制の補助金がございます。学校の特色を活かして使えますので、そういう予算を使うこともできます。中学校はキャリア教育ということで、その上の選択制にプラス10万円で行っておりますが、講師を選んで呼んで話を聞くことができるようには、なっておりますが、こういった方を呼ばれるのかは学校の選択になります。

◇教育長 すみません、この後の協議もございます。特に教育委員の皆様を中心にやっていかななくてはいけません。ちょっと時間が足りないですね。

◇教育部長 では、皆さんの意見が一致しているところについては。

- ◇**教育長** そこはある程度、委員の皆様のご意見を見ていただきたいです。
- ◇**教育部長** 今回のチャレンジの件については、意見併記でよろしいですかね。拡充という意見もございましたし、改革改善しながら、という意見もございましたし、あとは教育長からの意見は休止ということでしたね。それも3つの意見ということではよろしいでしょうか。
- ◇**教育長** 分かりました、どうぞ。
- ◇**参事兼教育総務課長** 次の4番目の事業になります。学校復帰支援事業でございます。評価委員会の意見については記載のとおりで、方向性につきましては継続と拡充ということで2つのお考えがございました。委員の皆様からの内容につきましては、基本的には評価委員会のとおりとの内容ですが、谷委員からご意見等をいただいております。
- ◇**1番委員** 二中学区と白沢中学区の発想の根拠と申しますか、そこに至るには理由があったことと思います。だから今のすまいる・る一むが満員で、今以上、人を集められない話なのか、単に、他の地域にもつくったら良いのではないかと単純な発想なのか分からなかったのが、書かせていただきました。
- ◇**教育部長** これについては、すまいる・る一むは総合体育館から移動いたしまして、場所として一中の方については、一中の学区なので普通に通われております。通わなくなった方が一中にいらして、面談を行いました。実際には通えなくなってしまった方の声の中に、遠いというお話があったりしました。二中の学区や、白沢中の学区の中であれば、自力でも行けますので、ニーズがどれだけあるかは、正確に調査したわけではありませんので分かりませんが、ニーズがあるとすれば、サテライトの常設で、週月から金まで毎日やるのではなく、月に2回とか、週に2回の開催頻度などは、調べてみないと分からないところですが、ニーズの中にも考えられるのではないかとの話であります。
- ◇**1番委員** これに関して、今、支援員やスクールソーシャルカウンセラーなどを募集しても、補修室の先生にしる、人がなかなか集まらないこの時代に、わざわざ人と場所を増やす必要があるのでしょうか。その理由は何かと言ったら遠いということ、交通手段がないとか、親の送り迎えが大変だとか。それでしたら交通手段を確保すればいいだけの話で、高齢者の方のデイサービスなどは、送迎して皆さんを集めて1か所で開催しております。ああいった形でマイクロバスとまでは言わなくてもキャラバンみたいな、七、八人乗れる車が1台あって運転手さんがいれば、先生たちをわざわざ雇ってどうこうする話でなくても、集めてそこでできるのではないのでしょうか。
- だから、私は分散よりも集中して開催することを充実させたほうが良いのではないのかなと思います。書きました。ただの一意見です。そうではないというご意見も当然あると思いますが。
- ◇**教育部長** ありがとうございます。すまいるに行っている子たちって、本当に自由に来ているものですから、送ってもらって10分間ぐらい滞在して先生と話をして、誰とも会わないで帰るお子さんもいらっしゃるし、慣れてくると朝の9時から来て終わる3時までずっと過ごす子もいます。登所する時間もまちまちなものですから、ぐるり回って送迎して乗せてくるというのも難しく、来ると言って来なかったりしますと、こちらも心配になることもございますので、その辺を確認できるところできちんとやれる体制を考える必要がございます。
- ◇**1番委員** 高齢者のタクシーがあるかと思います。そんなに高くないお値段で市が補助を出してもらえるかと思います。ああいうようなシステムで、できればよいのかと思います。
- ◇**教育部長** タクシーチケットみたいな感じですね。
- ◇**1番委員** はい。少しずつ出して負担するなどして。本人も少しご負担をいただく。本当だったら

子供だから市が全面的に支援し、無料とするのが良いと思います。部活に関してもこれからは地域だから、もう集約されてしまうのではないかとの思いもあります。特に一番問題なのは交通手段だと思います。問題点は徐々に考えつつ、やる気になれば出来るのではないのかなと思いましたが、ご提案させていただきました。以上です。

◇**参事兼教育総務課長** こちらにつきましては、方向性の意見については併記という形でよろしいでしょうか。

次になります。5番、特別支援員配置事業でございますが、これについては全て評価委員会評価のとおりということでございますので、次に移ります。

次がスクールソーシャルワーカー等配置事業でございます。こちらにつきましては、方向性としては改善改革しながら拡充ということで、意見をいただいております。

いただいた意見につきまして、何か補足等あればお願いします。

◇**1番委員** スクールカウンセラーをもう1名募集しているとのことですが、この評価委員の方のお話だと、スクールソーシャルワーカーではなくて、スクールカウンセラーをもう1人募集したいとお願いしたものの、人員が見つからなくて1人になった経過があって、それで拡充と書いていらっしゃるようですが、評価委員の方のご意見はそういう意味なのでしょうか。拡充だから今より増やせということなののでしょうか。

◇**教育部長** そうですね、スクールカウンセラーの活用について拡充を図れとのことですので、今の1人体制から拡充として理解しております。

◇**1番委員** 私は、ずっとカウンセラーではなくて、スクールソーシャルワーカーが1人いたのだから、もう1人増やしたらどうですかと話をしておりました。本宮市の学校をアピールするには、当然、学力は良ければ良いに越したことはありません。ですが、どんなに頑張っても東京都には太刀打ちできない。また、東京の周囲にも。

本宮市の学校の特徴で良いところと言ったら、やはり学校の居心地の良さとか、そっち方向ではないかと思えます。だから、こういうのがそろっているよというのと、不登校児も少ないとか、いじめ件数も少ないとか、そのあたりをアピールして、学力向上も目指しますが、そうではなくて居心地の良さとか、学校の通いやすさをアピールしていく方向性で行くべきなのではないでしょうか。現状、不登校児が少ないということもありますので、今のうちからそれをやっていけば、他の自治体と差別されても良いのではないかと思書かせていただきました。ただ、スクールカウンセラーが良いのか、スクールソーシャルワーカーが良いのか、そのあたりはよく分かりません。以上です。

◇**教育部長** スクールカウンセラーの人材としましては、本年度は週2日の勤務となっており、1人の方をお願いしておりましたが、今年になりまして、週4日勤務できる方といますか、週4日ワーカーであって、カウンセラーがいる体制をとるために、今いろいろお会いしているところです。

◇**1番委員** ということは、拡充の方向で動いているということですね。

◇**教育部長** そうですね。

◇**参事兼教育総務課長** 6番の事業につきましては、このとおりで継続させていただきます。

次の7番になります。健康づくり推進事業です。これにつきましては、方向性の意見は現状と改革改善と、継続するという事でそれぞれ異なっております。

内容につきまして何か確認等あればお願いします。

◇**1番委員** 評価委員の方が一律に交付ではなくて、取組内容や成果に応じて書き方をしているらっ

しゃるけど、私は今の形のままでも良いのではないかなと思いましたが、意見を書かせていただきました。

◇**参事兼教育総務課長** その他ないようであれば、こちらは2つの方向性の併記という形でよろしいでしょうか。

次の8番目の事業になります。読書活動推進事業です。こちらにつきましては、方向性につきましては拡充であります、渡辺委員から拡充と改善の方向性がございました。

内容について確認と補足等あればお願いしたいと思います。

◇**2番委員** これは、もうずっと申し上げていることですが、同じことの繰り返しになるので、ここに書いてあるとおりです。学校図書の本宮小学校のような図書室にできればと。特に白岩小学校ですが、日中も鍵がかかっていると状態と聞いており、いつでも利用できるようにできないものかと日々思っております。

◇**教育部長** 図書司書を増やすと、そういうことができるようになりますかね。

◇**教育長** 通年で司書がいる時間に開館されるので、開館の時間に利用されるのでしょうか。ただ、基本的に司書がいなくても開けとくべきだと思います。

◇**2番委員** 校長先生の考え方で、いろいろ変わってしまうのですかね。

◇**教育長** あと図書担当の先生の考えもあるかもしれません。使いたいと思ったときに使えないのは、話にならないと思いますので、開放しておくのが一番いいと思います。

◇**2番委員** 前にも話したかと思いますが、埼玉に視察に行ったときに、昇降口の目の前が図書室でガラス張りになっており、司書の先生もいらして、色々なポップが書いてあって、お勧めの本が一目でわかりました。図書室が夢図書館みたいになっておりました。ああいうのが理想だなと思いました。以上です。

◇**参事兼教育総務課長** 読書活動推進事業につきまして、拡充という形でよろしいですか。評価委員会の記載のとおりとさせていただきます。

続きまして、9番です。地域学校協働活動事業です。これにつきましては、改善改革と拡充、2つの方向性が出ております。

いただいた内容につきまして補足等ありましたらお願いします。

◇**教育部長** 古宮委員が書かれているコミュニティスクールの件は、ちょっと別でしょうか。この事業はコミュニティスクールではないですね。

◇**参事兼教育総務課長** これはまた別ですね。古宮委員からいただいているコミュニティスクールですが、流れは似ておりますが、コミュニティスクールの事業とは別の事業になりますので、こちらの意見は、後ほどご理解いただいて、ちょっと省略させていただきたく思います。

◇**教育部長** あとで、本人に確認してください。お願いします。

◇**参事兼教育総務課長** はい、ご本人に確認させていただきます。

そのほか大丈夫であれば、ここも併記という形でよろしいでしょうか。

続きまして、次の10番目の生涯学習事業になります。これにつきましては、評価委員からは改善改革と皆さん一致していると思います。

内容につきまして補足等あればお願いしたいと思います。

◇**1番委員** 意見を書かせていただきましたが、評価委員の方たちのお話では、受講生増加の策が必要とありますが、私は人の増加を目指すよりも、他の地域との連携が必要ではないか。今、子供もそうですが、大人も色々と多様化しておりますし、趣味が何かというものも、そこで人を集めるとい

うのは、なかなか大変な時代になっていると思います。少子化で人口が減っていくなかで、頑張っ  
て受講者数の増加を目指すというのは、方向性が違うのではないかと思います。

あと、青少年の受講生が少ないのでしょうか。それだったら廃止とか、他を考えると、同じも  
のを継続でなくても良いのではないのかと思うことが一つ。あと家庭教育は、子供より母親と書い  
てありましたが、対象はお母さんですね。ですが、今、子育てするのはお母さんだけではありませ  
ん。来る来ないにかかわらず、母親でなくても良いのではないのでしょうか。お父さんだっ  
て来て良いのではないかと思います、家庭教育です。以上です。

◇**参事兼教育総務課長** その他ないようでしたら、こちらにつきまして、方向性は改善改革  
しながら継続ということで、意見についてはこの内容で報告書に載せたいと思います。

次は、11番目のスポーツ行事開催事業でございます。こちらには、方向性については、現状の  
まま継続として、一致してございますので、次へ進みます。

12番目はブックスタート事業でございます。こちらにつきましては、評価委員からの意見は拡  
充で一致してございます。内容については評価委員会のおりとのこととございましたので、拡充  
となります。以上です。

これで一応全事業の皆様からいただいた内容の確認につきましては、以上になります。

全体をとおしまして、何かご意見等ありましたらお願いしたいと思います。

◇**4番委員** 今回の事務評価について、やり方が変わったのですね、制度か何かですか。

◇**教育部長** 制度は変わっておりませんが、振興計画がございまして、評価の実施方法について、評  
価書を作るだけで終わっている感がございましたので、もっと具体的な事業の審査をして、その後  
の事業の展開でしたり、今回、時期が遅くなってしまいましたが、次年度の予算に反映できるよう  
な評価にしたいと教育長からお話をいただいております、評価のやり方の見直しを行い、個別の  
事業について今後どうしたら良いかなどのお話ができるように見直しをさせていただきました。

◇**4番委員** 今までにないレベルの高い協議ができたと思います。

◇**教育長** 今までには事業評価だけで終わってございましたが、それを教育委員さん方にきちんと協議を  
していただいて、ご意見をお聞きすることをやりたかったのが一つと。あと本来ならもっと早く協  
議したかったところです。秋ぐらいにご意見を頂き、来年度につなげる協議にしたかったのですが、  
今回は制度と申しますか、やり方を変えたところもございまして、この時期になってしまいました。

この事務評価を教育委員でも協議をすると申しますか、しっかりと話をして評価することをやり  
たかったものですから、今回は臨時的に開催させていただきました。今、お話あったように色々な  
考え方が聞けて良かったです。

◇**4番委員** 我々、専門家ではありませんので、視野が狭いかもしれません。新聞を見るくらいです  
から。例えば議員の方々は毎年、視察研修に行つて、我々は何もないです。前も言ったけど、市長  
にも渡辺委員が申し上げたとお話は聞きましたが、勉強させてもらいにいけないかと思います。ご  
意見で方向性が違うこと申し上げてしまつては失礼ですから。もっと勉強させていただければと、  
逆に感じますね。

◇**教育長** では、来年度はぜひ研修に行きましょう。

◇**4番委員** 他の市町村の状況がどうなっているか、インターネットを見ると色々出ておまして、  
学力向上対策を検索するといっぱい出てきます。ですが、現場に行かないと分からないこともある  
かと思います。先ほど図書館の話がありましたが、他に教科担任制の話とか、向こうの教育委員の  
方たちと懇談して、意見交換をしたりとか出来たら良いですね。

そういう機会を与えていただければ、もうちょっと良い意見が言えるのではないかと思います。

◇2番委員 この間、市長に言ったら、倍になって返ってきました。1つ言ったら10倍ぐらい返ってきました。具体的にどこに研修へ行きたいと言えば良いでしょうと。

◇1番委員 自分たちから言えば良いのでしょうか。

◇教育長 だから提案すればどこへでも行けます。

◇4番委員 提案するにも、どこへ研修しに行ったらよいか分かりません。議会だと議員事務局。農業委員会だと農業委員会事務局とかで段取りすると思います。我々も全然わかりませんので、教育委員会に段取っていただけるとよいと思います。

◇教育部長 どういう内容のものを見たいのかというテーマがあれば、調べてくれると思います。

◇4番委員 それは専門家に聞いて。

◇教育長 今月、2月に教育委員会主導で教員を強制的に視察に行く計画を公開しました。

◇1番委員 どこに行かれるのですか。

◇教育長 東京都の足立区がDXの推進校になっており、そこに7名の先生方が行きます。あと市の指導主事2人が参加します。コロナの時期に中断しておりましたが、市が主導して引っ張っていく形で実施することになりました。

◇1番委員 7名というのは各校からお1人ですか。

◇教育長 一応各校から1人の枠ですが、なかなか行事等で参加できない学校もございまして、7名だったと思いますが、そういった研修を行うことにしましたので、教育委員の皆さんの研修会もありだと思います。

◇教育部長 あと今回の事務評価ですが、今年はこの事業をピックアップさせていただきましたが、これは固定ではなく、毎年、ご意見をいただきたい事業をピックアップしながら、教育委員の皆様にご意見を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

◇教育長 多分、学力向上は毎回上がると思います。

◇4番委員 評価委員の人たちからも、すごく的確な意見を言っていて、本当にそのとおりでよねと思いました。

◇教育部長 具体的な事業だと、意見を頂きやすいのではないかと狙いもございました。

◇1番委員 そうですね、イメージが湧きやすい。

◇教育部長 今まで全体のご意見を頂いており、幅が広くて読むだけでも大変だったかと思います。

◇教育長 今回はいい会合でしたね。

◇参事兼教育総務課長 慎重審議、誠にありがとうございました。

本日の内容につきましては、本日清書させていただきます。事業評価報告書の完成とさせていただきます。あと、できましたら皆様にお送りさせていただきますので、よろしくをお願いします。進行を教育長にお返しします。よろしくをお願いします。

---

◇

### ◎その他

◇教育長 今日はありがとうございました。

それでは、事務局から報告等があればお願いいたします。

[発言する人なし]

---

◇

### ◎閉会の宣告

◇教育長 なければ、これもちまして教育委員会2月臨時会を閉会といたします。

本日はありがとうございました。

【午後3時06分閉会】